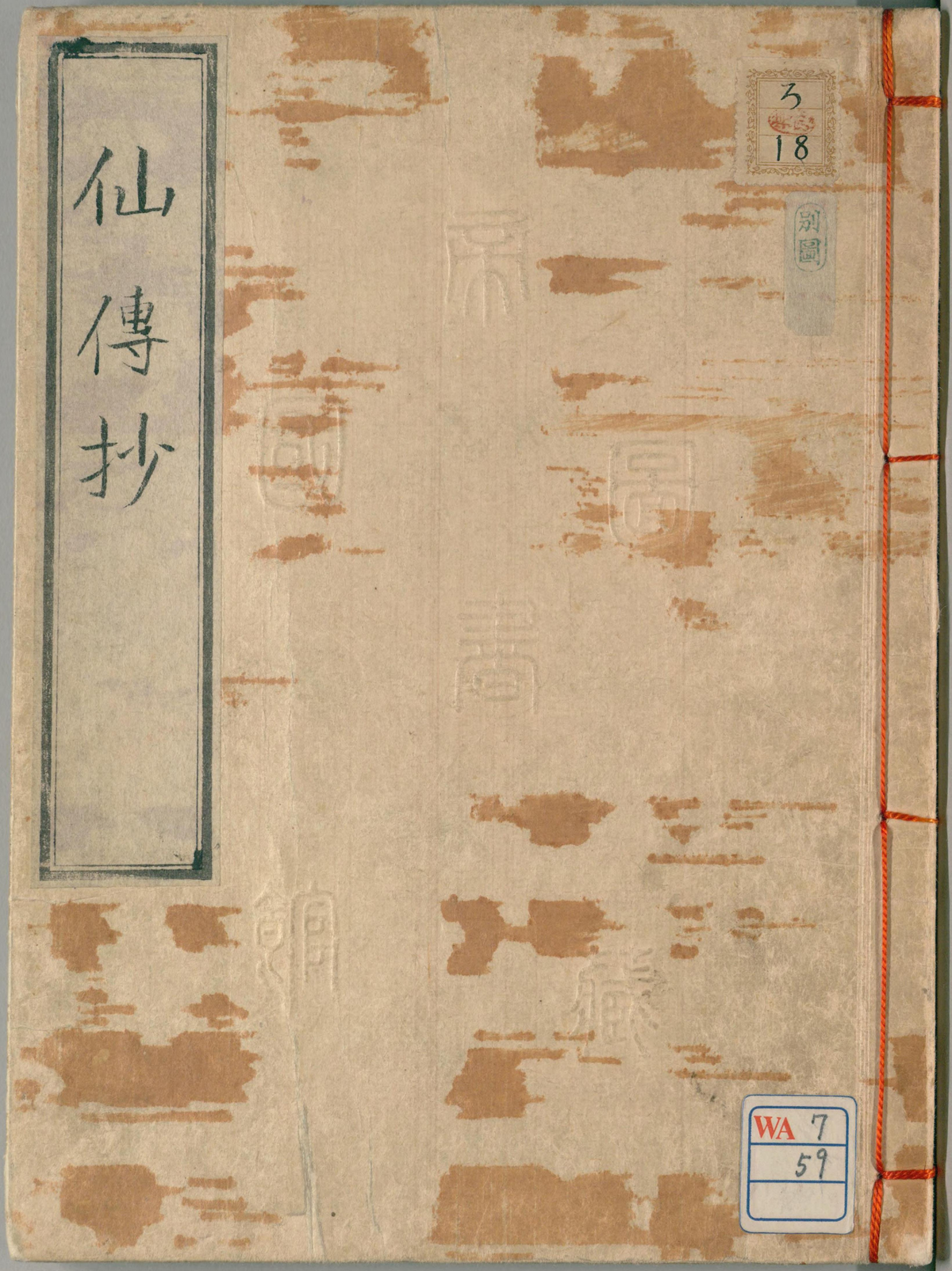
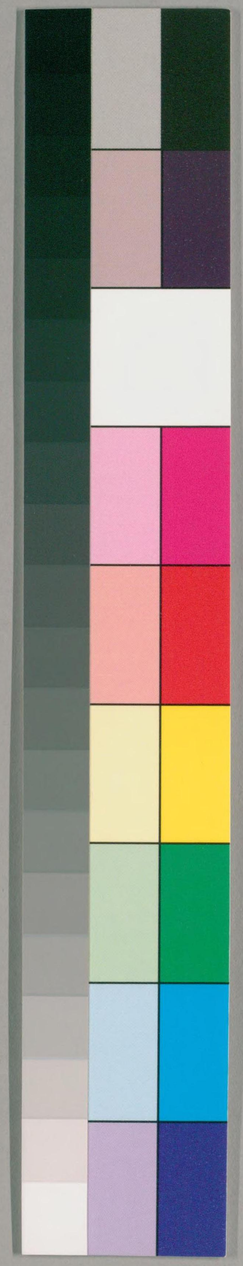




国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59

ガラス使用

仙傳抄

完

WA 7
59

東京圖書館
和書門
類 技藝
函 一
架 四
號 一四一の八
冊 一

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59

ガラス使用

仙伝抄目録

一元服の花之事
一法印なり乃至れ事
一公人なとゝ申の花乃至
一出陳の花れ事
一わさ申のさる乃事
一きたなれ花のす
一三ぢそくの花れ事
一さきのすさり花いさ
一なけ云乃至ふれす
一ちりひたれ花の事

柁原家蔵
故柁原茂人氏寄本
特別

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59
ガラス使用

一 ほうまくえんのす
一 橘のえだの事
一 そんれ花のす
一 か人なえだ人をえむ
一 七夕のえふのす
一 佛すの花れ事
一 いえいのえんのえるれ事
一 むこよめとりの花のす
一 人成まんえふれ事
一 なひえやうの花れ事
一 立かれ花の事

一 如来えけれ花の事
一 岩えけの花之事
一 野をけのえれ事
一 きくえまの花のす
一 ふえその花れ事
一 十のえま井えの事
一 三まやうけえふ花のす
一 三まえは松つき花立あり也れ事
一 田鼻とは菓四川立てれ事
一 二色花とはまをあひえてのえ
一 ふえそこみれ事

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59
ガラス使用

一くさむんこみのす
一番茎の枝をとるべき事
一うきの花のす
一枝をそろく花を入ふいとす
一花くばをやうのす
一あるひはるのきものあふいきらのをおれ
おきやうの事
一序破きうのす
一ろうきんのえらび事
一はきうの花れ事
一きやく人こやうくうんれ花の事

一中きうの花れ事
一禁花のす
一隔のおりれ事
一竹筒きうの次第やうのす
一花うあはらうをとき花はれ事
一人の方へ花をおく習次第の事
一投入のられれす
一四きのうりのるみれ事
一花のをまゐの事
一一時の花はもちゆるす
一たのうまはく之筒おうぬ事

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59
ガラス使用

一 衣服の花八事その外人いま
らはふる技業拔すて〳〵ほさて〳〵らう
こいなるへくへくへくそれうろ
のわさをおそ身本をひきそ
くさハ位うてもきれちうきんなるもの体も
とめくもち越へ〳〵うひ當季の花なりともき
ろふ草木を月立ろくふ〳〵作る
とをうそろ〳〵立ろ一世俗〳〵心也
一法師なりけれ乃ち一さ升みのあるものを
もちいすほのかく我作るといふ事なり

ガラス使用

つて男をみ花のをちやすき
ーおもきひいおんなとも
そさるな
一め人なとゝ時の花乃事一切りを乃あ
をきゝ升いみまひくて川ま事紙
うすそふーて雑すそなをうやうよさ
ーありていきやうよそをいものさうふう
一切す孫なるまなを不可能事み
ろあ家花ともちいへ
一些陳の花九変枝れおろしくちをきゝひいむろ
ひ泡とろーくらみえいうすとわろを

あいせいもうれあそ
ときふてつてきういて
志ま重ふ業ま書ふあ
いうさこ記ハなるお物り花
一もこ神の花九変一切あり
ほーひとうくさといきも
見ふとそふーてきの里たう
つまるなこりのうみえいてそあーきなり
一きたう花の事ん物あまたりなうひやう
るうハとこなろなるおもろ
るん球そてりまの

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59
ガラス使用

ととこなるものをなをそつ
ようなも

一葉をこんりうたてへそ
をとりてそうものまれい
しうれゆへいふれゑたい花をまくしてさ
志なひ出ましゆへかゑんにもらいをくさか
そのをまれをまとなひなるのちくさう
用ゆるなわ

一竹とうふかうかなけのすへをきりてゑた
り数うふかヒそんとしふハ七わなり七年
ゑりは偽あり志うきん也けゑ二五八月

うるなり

一三きそくの苑れ事を居きやくねりとまる又
やそんりうまをわひちへひきへしなそんへ
ききわいをきやくへ人ようなきまいをやくにちき
うひてくそんあり苑の数を宝あり出山の尺か
のすることはまゑなり

一きりのすることう苑をいくりきせ未に葉をとう
すこうすみへひふんうえへーよ葉
葉まりうゑへるひくうの苑をうすゑ
もト草ハそゑひけぬとすい

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59
ガラス使用

一そらくさんれん事いうそをするとをそのまゝにくさんをみるうねふしてをくなり

一なけこれ花の事あけまのとくそれへ花枝あひくそひうひへさのこうす但ちんのれうさ三四すりあけしるまるてうほまいくるまの上一をんうりよもんほあけへくされよう大くへしまれへうにこまもあけしるあゆめくあるへうちひたるの花事とをやうしくちうよ

す五ふそくたいハ三をんまのあけへくたくかそくらとをやうしくちうよはをくいまをみよ義やうよ花をくしたのとくそれへ花枝三八井もほうふくよ花五へいひうひ左右乃あるゆへあるをくしたのらうにくうの五つひいさんう大きなるい左におくをんれ川切ひやうをてんありみちうひたるのうけをうけ字あるいされにれをちうよ

一ほをくるひんれ事大うさ舟枝何をへうひ座へをこれをなくともうろひ四こて枝をを

[illegible]くおうちの[illegible]きもとそやうありもそんと
かりらと思そまにちさうい下茶のみさんは
るまこ時のちやそんは拍板ほまを花ひんと開
[illegible]る事あわともを花いつけくふともいよ上
とおうく次第ろうちぬさくく下座より里花のおた
いみえいやうよ二まへなひうせそまもみひと
まくく上をへなひ下さんもちさうろくる
むうひてさーきの中ろうほうる花なりた花
へめるとみせね
一撫ハちみは事りーのほあ球うきの上下み
なりりの[illegible]とおりきまろうほうる花なりた花

一ろんれ花の事人の出入はくちみはろへる
そてひやうよちやうよおなりいんはあり
一ろんれ花の事人の出入はくちみはろへる
らひ拍ちやうーなんらば球うはれ山とうま
へそれにちさうふん拍子所へ越この事をあう
ハをんえありみさーきにれあくいなひお
らひのちは直居きやくぬのんおわいと俺ろひ
のお其事ちんまてもうへをうしろ
へ見物りたるやうにをへ
ろうくるひけうく

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59
ガラス使用

といてたる様いと面こひのなり
一お人なとの人とうくむる花の事右うわ
その説出ハのロへ本すへ説なりたのほうと
まれるものやうおそいうゆうり
ト草説そへ一花とちゆるきなり
一七夕の花のすすき風をもの
ゆるなるうふ出井なるうまあるるひ
きうもト草そのんあふへくれもん
乃えた三光のえたおくへ一三重りあり
一佛事乃花のすいつまも三そくのいて井
なるをきういはよりにそのさひくる

ゆるやうにふいちうう様乃すハ花乃
ある一むうさあれうふうりあうえのあと
くろハー
一体こいのまんれこれの事うう様乃すハ花乃
まんをはてあひうせそいせ中のんのうまて
なくハりうまも花うやうくくてちくやう
てたれてしもかはまんれもんきんのちあ
をへ以口伝あり
一むこよめとうのまれ事おひきうの教法
おくなうみやうハ一巻のの流にもんを二
やうおりせてたゆる也再報にくてんあり

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59
ガラス使用

ゆへそのまゝ草木をなひ
きふかう身とそてきあ
てわけうへもの成さくら
やうりんたうくのろそ
たふかくさ枝にきくと
のうえうよう出のこ一てい
ふん風にきそ色物のすれ下
うり梅るき折なるおるくさ
るをたく躰をたつを一本を
ともおめなりたてやう
のやう三ていふまある

一ふきわけの花の事それ
若きやくねの心のあるてあ
すくなるくさきを風ふけ
のんなくとまくこ一ます又人なと
の形量の時ハそのんふきハりのくとやそ
して吹かりあくねありうんてもそへものに
てもそのうけの鼻ハさのきみひうるそれ
大木のうけまれハりせすこ一をひんりた
たるあり

一野中の清水の事うん枝の本をきけら口て
もんおもふなと大なる岩一方をあけて天

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59
ガラス使用

[illegible]
ふれ世のつとあふ心ふかく
たてゝく対談なり

一ちんくさしの事ト鼻ぢ
のろひうる指ゝそト鼻
一ゝをもつ組志ゝと鼻をも
たるハまろ

一ううくつまの事ちんをる
くさくふた三ちう紙ゝひ
一岩かけの花の裏これをう
ゝをきるやつまハ木をゝひ

葉をゝひうゝ仕草木のりを
ハうう葉紙葉ゝるひりせた
中の面ちう花ゝるん鼻ゝ
ういくくたるハみくるつ
一郭ゝゝの花の事美ハお法坂すくりたく
てうゝもれちう風ゝかう
くさゝひまゝやうう紙んぬてうはう
風山大事ゝのくれなり

一きうくつまの花の事ゝ
おなつをもていよ葉ゝの葉本と判そうして
初をゝやうをも一ゝハくさ木紙るひうすゝ

それを重ねのくらひあるへくれくの松
ひとつはくよのくさまよそれたるやう
にそ侍るへーうみゆく人の根乃く沿道たる
あるなり

一うこれ花乃事ともんよすく成りのをこそ枝を
もとくりたてるぬりをにかさのとくもる
鼻をは泊くそてをのはうもんの枝条
城ゐふくろのくちもも山くるれ尾乃出うる根
にたてるすて

一うけくの花ひ変うけすかうひくさるし
鼻をおかに出ハきをかみ更そきぬちる

うへ鼻恋妙きとうへ泊乃ふひよりあ迎筒
みやうーなを活うちみうるやうにそて
為泊くのちいさ記みあ面をこみうう
してくのうふくやうにたてへくいみみ
ろーきくをはしくるひんのくちい
きはとたてうくすんなわ
一うそしるのまくをんのおに一う我
面泊くも花とは一ちゆんにひろふちんうう
に出花はなくひ泊来ふらゆるうとふち
こ為ひ卿まうもち迷なり

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59
ガラス使用

一十二月の花は事下葉にもみぢこ
二月松下くさうれこまの残く
一月梅まくさうくさ雪ふるまで
三月猫の仔くさ三つ
四月かうの仔くさ三つひとつは葉おかく二
つは葉すくなく
五月竹くさ三ついろまをもちおほく
六月松ちくさいのゆをふりかけらせて
七月仙翁花鼻つけくさ二つもはもん
ふふ豆ときなわたくせんおうけを月三名是
の外一そうをわ少なり

八月つひてくさおりくさかりふそつ
九月菊みのなるくさ二つもあうをさいらう
十月南天ふれおちたるまみしかみなる雀二つ
十一月山ちきひよどれたるふ鼻ひとつ川柴を
ふくろ袋ふうろ
十二月雪の梅かまたる鼻うつくしきこと
柔すこみをみしうく豆木ふ
しものめつ袋そへ
あへ乃んのありゆきふまもかく
くうをたる袋をそへ
いふんき又十二月乃ふんなふくはとなろなる

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59
ガラス使用

抽ぜんうのへてたてる一下草を書ゆはめ仁のせ
くへともはにまるおりみるまわとわありもう
いうおともれてる一うういむ志る秋冬初春書盡源俊を近
花乃沢寺ふ心ろうんよ
五月供のふれ事ふ月一日ハ寺月七日ハ
御下巣七種志七いろそてい志ハ
十二月ハ花三月のふんうや
くなを毛用いおとにホのうううよ五月
五日のふんよふふあやうぬ下鼻めへやう
ふ仮のきとふんの歌かそ可更志

仮二ふやうくうんにたてる一七月ハれ
ふんうう仙翁花きやうハ事にまき
夏ふなわは花のをうきやきとん地下鼻
をいうしのんかろる一花のかわ大事
なり九月九日のふんにおうてあるの牙をの
ふ白きくまるをそふんか花のふん仮乃
うふうるやうにろへしてくさ小本なとい
ふ可ぬ連ハろろうきんなり花乃をうく
云方根御おれ花かうろうわをいう
一十のうう升ふの八事を充長古みかく古今
並近二ま仁草助むるけなをう十文字以上

一三記やうなる花ひさうし成記さく右をたうく
大なるあわ毛右といふハ女房のすることを見た
右といふなり
一ろんきんとはうし坂か野とも見へて山を
入るあんをときあふなりうろか山を見おろ
野成とあーそろんきんと河か花ハう
ちなんに山のんをとてまへに肥をそう海の
山と魚つらわれたてうし毛成をを花りよる
一魚ハれ救なり
一三本とは松つきをとあもせぬなみ木
三つ一ハうちにとてぬるりよもうまんなり

いむへ——
一空鼻とハ菓子やつとてそ
すうふか茶乃三なくとはまと愛〻うそ
れ事也ちさするうとそまんとき
らひいなり
一助花とハまをあひそそれ松のトうそのや
うに——そいなり
一十文字とはさちのゆるとハ
一をちとはまを鼻とうて鼻とまとまを花
をりとのをちなる成をちなり
一ふそこみの事すあハかうあのふなり

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59
ガラス使用

一そもゝこみの事は侍るべくのものいうとか
一番葛籠おきやうにかく
まんなるへーきうくてんかり
一かけ石をかつらハをとりまへえひ
ふきやうそうくんの
あ一二つまへえなるへ
一きの花れんやうれー
こき上夫なる花をこんきハ花のひさをおゝ
制右のひさ城すこたてみ身乃も城向へと
侍る寂みまた花のまれもちあひら城ん

ひさうりきせこらーふきやうみ
て花右乃まき生もかむるみとるれ右す
これもたてちくめうんをらなをハくるうう
すう先を人ううんあるくハおさわと見ゐ
ちんと乗用城いひてこふのとへまびうり
うりてこあひ侍あえぬやうりんねあるへ
又一る二るのこれをんぬのおもてうてハんち
ふへてくに伺とまきやうりみへこれみ
んようなり
一我そなる花を人よりふてくつすやうをてん
ありこれるもの人すそあーいあとくく

ねきをな坂あるひわをうへ物のとくしるをあ坂おへをくまをさんたてみそうをつきまそうのきそへ小なくへ一豆ふんのんおしほふれうろをへつこうたるよふのをものこととくあをへあをこをつよいえくけしてくるをえんのこさにまをうけてのんくるをな坂を称ぬやうにのわきをへたへ一時の周りをれうそれうりぬいくのく事をあり時うちおまうりうへ一

一ゑくつをやうそうしてうんおうう花一をはそろよすいそぬきさそこ

坂ぬくまのうんをぬけこもるまちりえさしをゆへなわ

一とをやう一口の花れたうきこみのうのとのひうきまりみつもちたかなわ

一あうぬへはうりをねあふいうくちりを物乃をきやうのうりはうらんおへくちなへをへしはうのうもうさ坂たへなへはうをおにきやうかおくをへ一寺はこれちとく坂むりせてをくをしてふみめはをなふうをえへおりみよまそちひ

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』 請求記号 WA7-59
ガラス使用

めうへ——

一立花の次第第一大事ニ
一三ヶ所ニ二ヶ所は三ヶ所ニ
八ツ四ツ五ツの枝七ヶ所ニ八ヶ所ト
早揚十一ヶ所ニ十二ヶ所中出花ニ
く奥注ヲ以第一のくせ
一三ヶ所ニ定ル事ハ右ニ
きやくぬ九花ニ
花なるゆへ
里かくし——

序破急ハ枝ノ
一序破急ハ神ノ
子ヲ以ヲ
伝事にあらず不可思儀なる一
一序破急ハ枝ノ

をのつゝ天上天下唯
我独尊と名付花乃根本
うゑハ三よ仏を立ル
すくにたゝ草なれ
左右にうゑ枝ハ
一おにうゑ立ル
きつゝ仏象ス
ハ次神三よ仏乃
子ヲ以ヲ
伝事にあらず不可思儀なる一
一序破急ハ枝ノ

なりこれいりなりきう八鼻なおよそ花八
三色又庶巌の如也葉の花八そんとまるひ
にうふ花乃門ほをいふなりまきなり次ふき
うれ花八ひうの花なりあまつの花えんと
いふもハひうなり
一ふうきんれえたの事ま五ふいむこよめとうも
ふ八始てうこをそふ四ま八佛図仏像供やう
ふなりまん髪をそうん四ふ天上天下唯我独
尊のんきへ一ま乃右れ指すて天をさ一充八ね
ふくほをうすんじふ果し次に佛ムやうれそさ
八なひまうのふたのこうく二ふ

ふわこふのちんうこみ一
うれ中にいうやうの鼻す本れうれこなるた
そうへ一ままもうまの事八四季のえた
八もんの左右うふら八一ものわさうま
もろろまこま風りそいう一
一まふの花ふちくのふ日ふうんそいうやう
のをの花ま乃そへをのふ花ま乃これを花
よこそす花たる花をまかけ
めつ一き花なりともきろすま
きうまうま一ふたきふいりうさる花をまう
ちふのくちにをへ一序破急ある也一

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59
ガラス使用

一はきうのむハまくにちるをみさハ魚河へハなをの風せんもあの魚ん乃ゆ球うて野ハ腰乃ゆ松とたゆるそれくのくなるへそのてゆきの立れ花をはきうのたきのゆうて一きれうよおりくふうおくの沢ゆ有ともに水ーまたる神ゆハあ球ハりゅゆとなりくく秋ハさるうくりつゆきてもるいうりゅ乃ゆちく祈をのをゆしをけーくあ球豪かゆはまく祈

をそそくの始なりうトしきやくく人ちやうくん乃ゆのをそ後ちきてゆしーうふ魚うを一きやく人ちやうくん乃花ゆそへ物のふひきうりうてト鼻も竹りきやくちんちやうくんゆはそへものく技ゆちてゆおをそてへまうくまきうる里出く風社未球吹ゆーうちゆゆ始へしきれせあう里打もてうせれりてりあくをへいる風のふ牙たるやうみきやくくん乃ゆ人の居すへますんをゆをもちやうくんなりちくさいそれに

一まんけをそていときハ三世をそこ
のうちハちりそそうそうち
わおもも座敷なる家をそそへ植まんさ
いの座うへ花ちわおひろきたるをたて祭の
やふきさうをそうて見らいの
いうこひうきうにまき柔をた
つまをくたうくひきくれんぬを八しそへ
地水をあんれその次立へ
何をんえあり山日いひへし
一早梅波ちんに立へまやうむめとをんみたて
もれ神なとそへりのにふ
のちあなり
一中うの花れ事ちんかいうみをすくうた
てにきの松波をつくト鼻
すへ一なえんへ座の花
なるえうをきあふ
一禁苑の事かけうくし一時に
花れひうきたる十一月るう
くをんさうをまにうてた
る人をてうみくする時れう
かなりいむなり
一平生をた川といへとも西うまんういう

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59
ガラス使用

[illegible]

[illegible]

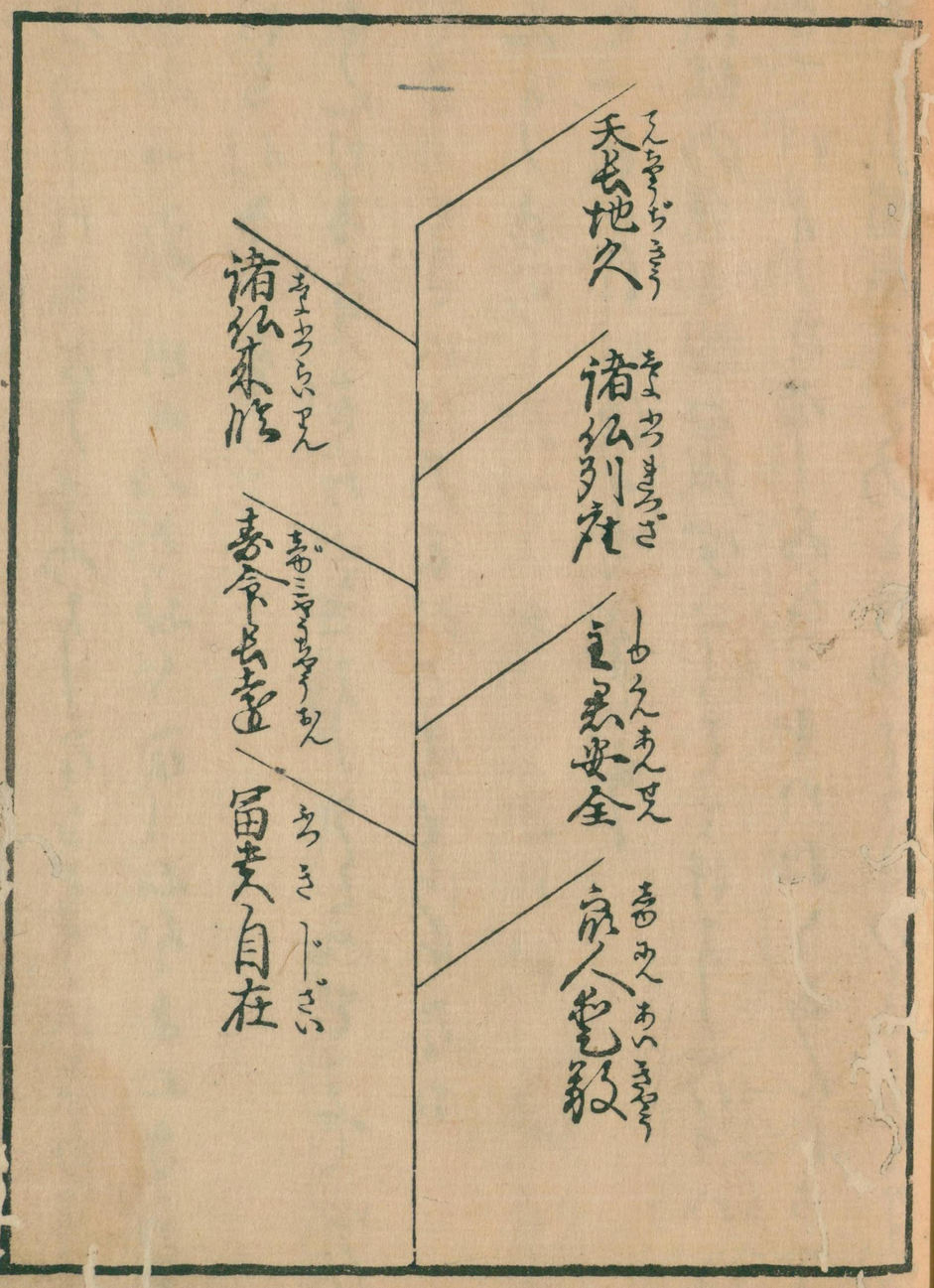
[illegible]

丫あひのえた
ト　まえさすえた
屮もん弧くゑた
卜うさなるえれ
口さうものゑた虫伊
下四ゑたみおんてゑ乃ゑた花面のえたな云
4もんをきうゑた
十もんううあへ目のやうれ物也ううわ
のえたとそいひなる
一そうして花ときんうらうそをてうふく
みなるなるいし井かーらともいふかな

いむ

おほ弧きんかへ
やうくてんまあり
一菊天はひよはそをあ
かみ物なり
一こすんさきうふら医
ふ事あすハの四季乃花を左ゐ
まき弧山とふなりそうして此のおもさ
なりさらんとあきゆはもさくさの
るみなるやううくへ
そはていわろ
一あやうんのくふこすへ下鼻を志ゐ

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59
ガラス使用

一竹折りかけあるやうにて根ざ
乃かれたるもとよりなるもの枝をもうるて
もみ一葉水にうかべおく
おもむきなり
一きんりきうきうきうきうきうきうきうきう
てきりくさにひのまれくさをなるわ
一ねりのわくふやう花乃本末枝ばかりそれを
を一葉うけにはそそそそ
一連歌の花を離る枝やうなるものハさ
るていりとをあきうをハねんにちす
まり閙季れるものを用ゆすることいさくなる

よろしうす
一花のお枝立くさぬといて
くて花よくいそうく
の季そへ乃里乃折そかく
ううを大本枝うくすす事ゆめくあるへ
かうに
一枝の一二のお地うの草木をするゆへかトうを
一二と云へしうんハかうを也一二の枝を
主人きやく人と両色きやくうんゆ
一ルそをうすて
一人先すへ花をゆく添沢寄まを

てわさをなす事を其ゆ
しゆひてそれをとれるて
るるさま/\法むる事もあ
そせ女人なをへなおく事なる
一仏おの花へ就面とそうけれ業ありりまをい
なあるものをみて
一かけ面のまま花をひまはくろひそそし
やうかうのえたとは花れ右うあわ
一うけれえたそなるまのたみおわれそえたに
てもとまるそもろて
一まんをおるとちゆるちあまき三見お遊の

ちちなり
一枝云の花れ事重居ハ花乃太きやく居ハ
花のおなり四き成ろ事花乃わうそ
うしさきにりてくてんあるかお
一なけきう物とハ左右ハ技のこ
かおをいふいむなり
一四きれうりのれの事言ハみれうを
立る以きも四きのあうくのあと
一花のやまりまてうふくのえたハもんあを
こすんふたをいふなりれハこてうやそ
てきをふなりいむへて

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59
ガラス使用

一きたうり　屋ひのえたやそをなかはのやまのいなり

一ちんをかけともち升沢水えた秋水を開下くさを人名ともちゆるなりあ

一まねきやくのあたのうる風情なるをきやくねりもち越さてあり

主居と用へ

一生苑の事番ハなる乃苑を作り畑也

一苑苑の事芸ハ冬よりふゆを秋乃そるを云なりめ仕た理をもりて生苑とる也

一なつハまりの松をもりてすゝき秋をそ

一下草ハむりてをけくなれし

一あきハ風しく迷むろそのあさそほくおをこ芽躰

りそへてくさハろくあひりせてとあろ

一苑越をホなりまれなる躰かくて

下草ゆきかれたるていろとをよ後し

一秋ちんおろ教事七月にかきろへも

みけをなろあきをたけろふゆハれてをもう

まんまてあくハろをちんりたてへ

一紅葉ちんれたけろあをそへをの月用へ

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59
ガラス使用

一時の花瓶もちゆる事ありと又雄の成
草むをたゝくともきやく人よき女房気なと
のうるさへいうまもいのをきていよひろて
そく花へ一

若川流

一茨をちんみたてるハまた瓶に立へ一
一をいるさ三瓶の花れ事中草乃表うま
花瓶そをきのちんにまをてうへくさるを
中そんのちんにまをてうへくさるを
立ふるあり三角へれちんうまあへ本草
なくバ葉ふ瓶たてるをいうきをちんのう

をうんて立ハ一くの当季のみき
人れうさせきまふちれ花中そん
ちやうくうんのあ枝へあるへし
一ちせを葉つちきハふるをりてりとをぬのとぬ
らうてきいうふ夜うをちてきりロをこう
そおうう一茨ほをつ了
一九月くの花れ事三月中そんのちん
り物をたゝう桃のちな瓶そ男なりひとき
うそもくるかうハ
一五月五日中そん小花しあ
さうう竹をそゆるなり

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59
ガラス使用

一九月九日中そんの黄なる菊の花をた門へ一
ゐまれるをもとまいはこれ上のこと有
一ゐのこゝは中そんに黄しやくの白きとたるく
ろ咲まきれいなをもちいへ一地水
火風うとも後へ
一そら花瓶はけりなをするくさ木のこと
ら一本たの門主をはかなるのとくなるう
よき木みうくさ下えいのをとをきて
一たまれ上の花へもをうりてまへあうをたる
やう小の門はもこの花へよをのくさ
うへそいなわ

鼻すくまのみうま事
沢竜ふ天のおかりといふをまに次一すの鼻
水天のとく

ゐう云く
なの山れくさ家のうみそもうま
うみし小まのひと一ゐ
みえくせいく一ゐんのおにゐうまの
安有　とゐ竜も老い元服なと
ゐふあるゐりおゐふなわ
一花瓶きうをしてゐる大事
陽気をうろ花れ事

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59
ガラス使用

一花木の木のか
一やう又なるの多をーきそれをよみする
やうなうすへー
一わもものそやうきりとうきん
ぜんるのなけなる
一るこうらんのやう下鼻せきりやうは悟き
一るふくー　ま風　あさー　花世ー海
一花法か　花ふりいさ多きそのひるくハ
しふるなる
一奥義之別紙
一授るる花伝立る夏ハ佛在世の昔しるる末世

の今かるきそうい定恵乃三学成ふめ給ハ
ふ一なり書と花と次と伝るる慈悲いさく
りあるさすとみえさり
一三奥足ル花ハ三よくうい定恵乃三学成ふめ給ハ
短右今多近とそてひろくる救る慈悲いさく
救る都悲とふるへし
一右也とりよハ左へるうくひろせて左へ出さ
そして座数成りさかする也右うんと云ハ右へ
なろくひなわをみかくうる神き成りる
古今とりみあとはる一季さるうるふをりる
今とは當きの花をりよをとる風情乃うくみえ

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59
ガラス使用

たるやまとうた近とはうへ
のくらゐなりみなわ
一花のまゝもんといふ心を人
ともんさうさ花らさうハもきよ
くむをやまのさよくふたハあ
やまをもんといふなり
一五日拾御成代時をうへいく
三具足きやうーあ乃墨しか
おくなわ色紙五うさ里と云な
あをきやう中にかうなさ紙にうれの
おにふくこ花う花瓶みまよくうれ

時乃花いきよくさのれたるとおも
云花短と可立服花ひしへわうさ
の身波そそうれ上う拾くなり花乃
乃花いみなり乃花をうけて右ら
てわき花えんの花へ常季のうまし
やまの花れもんみは松うさ乃あるうう拾
のふふと乃門ふなり
一五ふく一法井れうけ六ふ
一本そんのおの早れ七かさうし
へたるれたの二花えんの中は
花くこひんハふふそなりふそ記七そう

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59
ガラス使用

小をく傳もあり

一三才の子を定て置きの色あるを
「とひよ〳〵」とよびてうつくしめてうつ
をそんのまゝへのこされひとりひ
きいつまをくるひん二傳むもろひあよ
龍宮かなわこれハ三るゝ半乃をいく
にあわけるまゝ紙ほるゝ
ひあはまはかうへゝ
一ゑをとりかへぬ事なり盆よ
一たまのうへ水をくゝ地おたおはらまん
らまん地すへるをいたゝ

ちやくなりちやりんのとひんをふ
んの毒りすへるすくへまんのみん
まんの鼻のうへうへをあるひい
んまんなをうてもよろなり

一うふ後のそいハ五まる六まをみておすゝし
一面り四ツ三るんにおれを也くてんわす
盆中にのうろ右りおよ谷
地おくなる種々の傳あり
一名ちハたゝそいハ下に地
ゝそつよ山のをうりりて
をくなるみ一ゑをいく

ちりひたるみ水にうかべ
をかのものハ見てかろく食
歟ひと川酒乃ハ松一ちやそんのあり
いみきまた乃もの一盃歟一盃歟一ぱい
一ごん類の物みるくくらりあしせくき球秀蕨
しやく白玉おくなりたるのそそふ
そたるおれちういたるのそそふ
一ぱい物ハ中乃たるり独ふへし
きま菜花雞骨ハトの重に盛てよき歟
一りらくもんれ花ハトの花と同おなじ
ろうかひろくやうふ歟なり

一法成ハ時祝云の花みハ本より松をそへつくるもの
のくに神すてハ百うち百ん八迷ハなり
一三具足の香合ハくちこ二すあるを二をんうよ
一風勧の糸くるやう押拡のすゑ四かまの魚ふく
きと打絵ハ中へるとりら歟ハ歟ハ歟にりう酒一盃の
いと残もちゆる事なり
一をしいるのまさよもきねうり八をん一盃
まりおしりされたるさ七をん五分地面のむろ

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59
ガラス使用

小うたのことなり

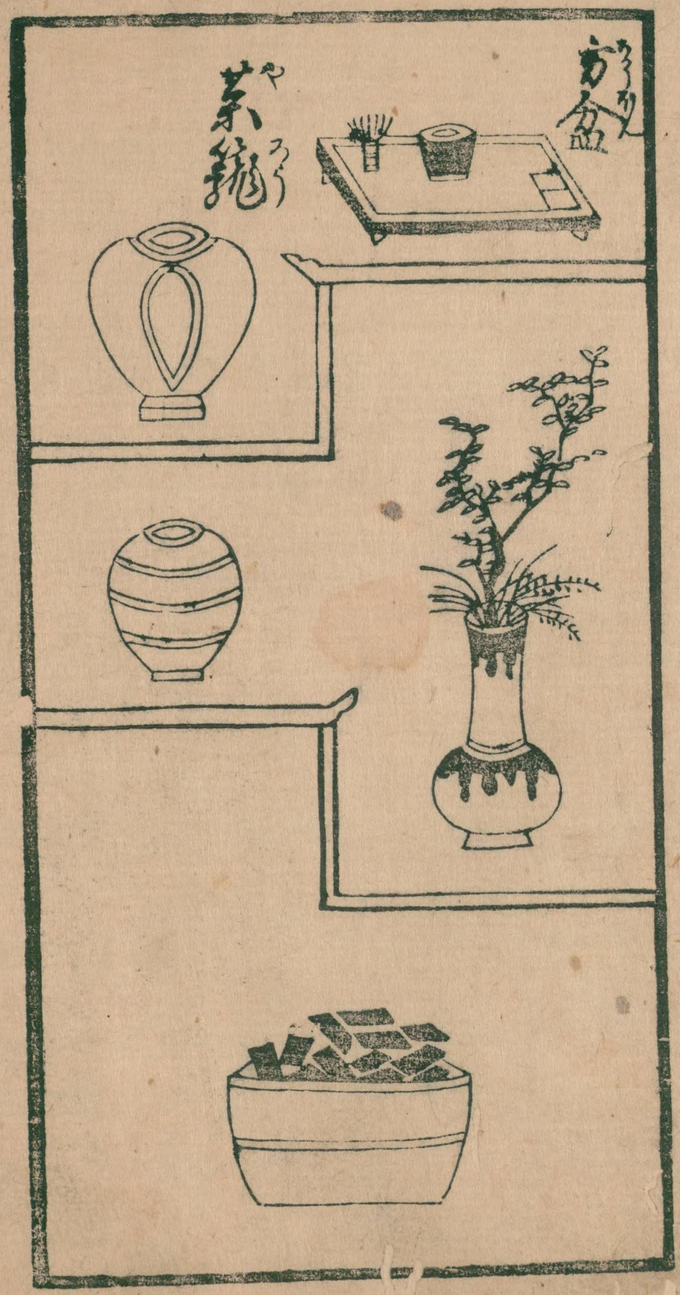
一風呂やうハりろあり申候
うけまさきやくてんの中史九郎申候
九一いろのをとうくおなり

一次とりとたに一いたのきんへまさそんるの
をいろ佛うんのおなをおもうくるなわ

一鳴鏡を其書院の天井九中ほ
一ちやのゆを其　云の松は成のまゆらんまれ
いとをわおちうくすへ更ハきまそ
ろひまゆく納を付へ申候なりたなふりんをれ
くとまいハきんさんぜうといるうりをつくそれう

おきてまんへ申候見をうりち
ちやしやく成おくなり
一うういちやうんをうというう
ものうする事あの事
てうといとをにれくまをわるなり

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59
ガラス使用

脇繪

脇繪

脇繪

一ことあひきの花といふハ下鼻をすへふひ
うせんかをいふなり
一これハ上若龍一ことふと
ゑんきくふ乃本のせうひ
くハ引きくそくハ少乃
而うまりてそやうあく
一本おをひくそへ鼻と
ふきときハちんむおと
おうくわとおそへ鼻
これハくきるれ時の事
ちんおへうみくまむ

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59
ガラス使用

をすこしひきくうつるなりあんのうへにそまりまんまるうちまきたるやはらかなるかたちにてくさ
ばのほそくうへにさし出たる也
一ちんれうこうをひんそうにそりたる時はうちまわかへあけて移りちうひきたる物面向也
一草のちんれ木瓜そうの事右に引とあるの外
当〇なる山の草葉のなけそこしらうまきそうみし
小松ひとえだあけ来たるまきそんぬへて
一花の枝枝をうすくすかきとをしてへ
うすくまき入をうすくていむなくさを
面へなるひけしみする一草神とかりかく

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59

ガラス使用

那事あり又十文字なれえたとかハやうのうとにふとかきなりそれとかりにそへ草
枝すくにおよさせハ十文字ありたるのき
一主枝と云そなかのえたうへ最もあけたる
を云そうへ最もあけたる最本そされ
一古也短の花中は右へれそへ最枝あけうせ
て九乃そへ最座数をいさくん一枝面向
ちんのうしろハくさふけさ添うな義なる
一花瓶の口ひろく明ハそへくさくえんのそる
うつまてひろくうみんのすくなる明ハくちのきいろそひろくへまかわ

一うんのおけたる事のうちをひろうせてそへ又はるけうへ一たゞ本をおけたる花うけのやうなるをおそへくさをうへそへし

一まる石うきんのうふハ五すへうたる板すくかうそへ松のえうのへうこかうき板の面へをしてたたる事あり

一當壁おとうふハうへをひくうのをりふきふよをものをそれかうきうたかくそへ

一草花ひとうの半りしてはるくをもまへたなり

一もんハおおくうふくうのうちに花ひんの筒物とくしてそへたなり

一二もんと云事あり花ひんの筒物なをれやうくも記ぬきに蔦うを添りふなるをの一本うまなうしそへたなり

一あけへるくたたるなりまた乳花にあうすの事なり

一花ばいおくとうふハさうのやうなるをのに花ばいのうち板を野山にあるなりの生いそうを板うるそへまなり

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59
ガラス使用

一草ろをんうまをまろ時へ通うまを
物語にもあんをまそをなす郷下くさをさ
為一艘のそれハかそのわもてのひふ方へ
あひろてたて美なり
一ろんのりとまろきいうれ
そへくさをまて又そ
それにものうへくさをそ
一くさもまをうろ男物をはな
はひきく立へくてんおり林へ
一よめとわみはむををてぬ
一かうあのうきんの花ま也

ものくいろ四色そそ花屋瓶たてる
うきんのなくひ大うう
てんこれあり
一ろんう風あうんハ鼻まも風あふ神
残たて色絵りせあうくう
すて又窓なとハあらんか
たよう風ハ吹入ていれまく
一当季の花残をろ列の花瓶
事なりそのこきのまをんおてを
色鼻の新へなへハさろう
をうちまやそのまそ残おをもろくみする

やうそうこれをたてゝあきらかに
一ちんぼうきゝハちる鼻きそもはなくちん
よそくいちさくさもよそうな
一ちんをはものをそうみをそうかん也そへぬ
そへたるうきなり
上　うらひものこゝろあるうもせもゆきえぬと云
下　山里のうて春波もそうゆと付るそくせ
へ鼻はすゐ事をきなくろふこての上ゐ
一つよそうんぬらん時を
一古今に○物のゆよやなこゝはの
ゐ就れり云ふ

とりんをそへてそうちんをよくく
云そこれくまひんゆうかそへ事ゐ
らんと自由自在ありんしてそう百龍
かりをてたるとを用れあわ本月をはき
こふのきとろまた苑をくゐやうかそへ
のゆをゐん面白きやうな
りのこれそうる人をあらくそくめてき
そうらを面白くおりひてめ
をゆまんとをろにうりてよ
めてあこの本をうひんゐと
にんをちめてそうて苑枝をまねそこ

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59
ガラス使用

ちぬと云ふ事なりしを
るをさらんよしなくて
恵のえたくちんありまさを
も花れえさふ楽趣あるへし
なりゆるえた楽ちはれ来たなり

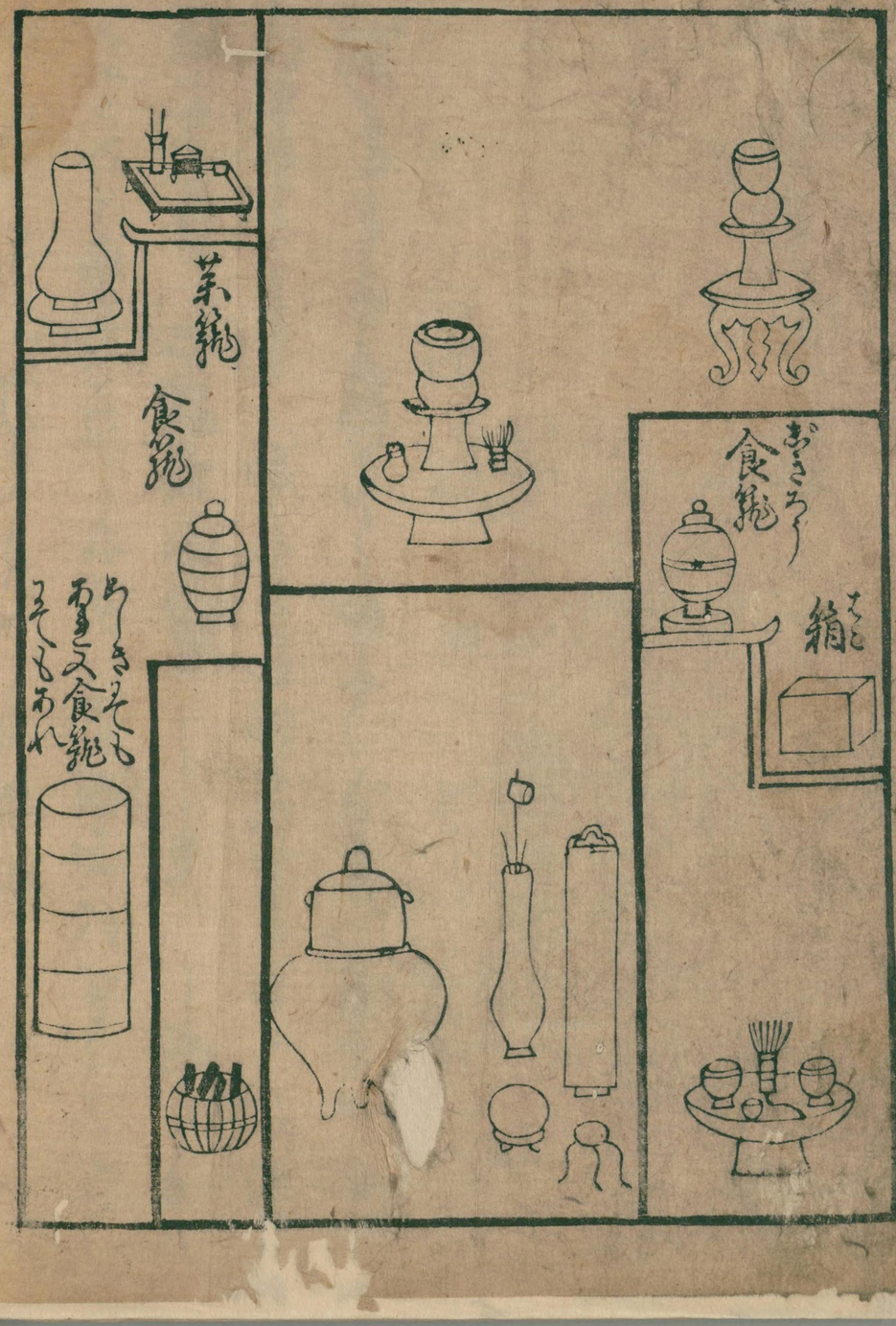
一絵坂うけてたちる花ハ事
み描　虎よ竹　記言ふ狗　天狭
あるる本ちう人ふまきのある木　うよふ小
ろうふ描　ち人に　精あろ猫　るさやう
にくさ　昨ふれあれちるかうん　山のふ山
野乃本の色よ草花　るるこ　ふ恵のを

ちあうりうけてそへ美なり
一そあはきを夏鼻本日
十描よさき　ふ北本ふあて
はをおう一一　ふんちんになけなるよりり
いうまをちる狭えうんよう心美の也

仙伝抄 六三 象原御秘

二年三月廿五日

寛正六年二月八日



国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59

ガラス使用

ろ
18

旧請求記号
別13-29

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59

ガラス使用

文明四年九月十三日
同八年九月廿日
同九年正月廿六日
同十七年九月十八日
永正元年四月八日
大永七年五月二日
天文五年正月十七日

右相伝人宝岡
宣盛僧栄詩
禅寺庵寿亭
山毘玉田前
贇首座
池房寿慈

仙伝抄

二時寛永拾参年子
六月廿九日

善哲

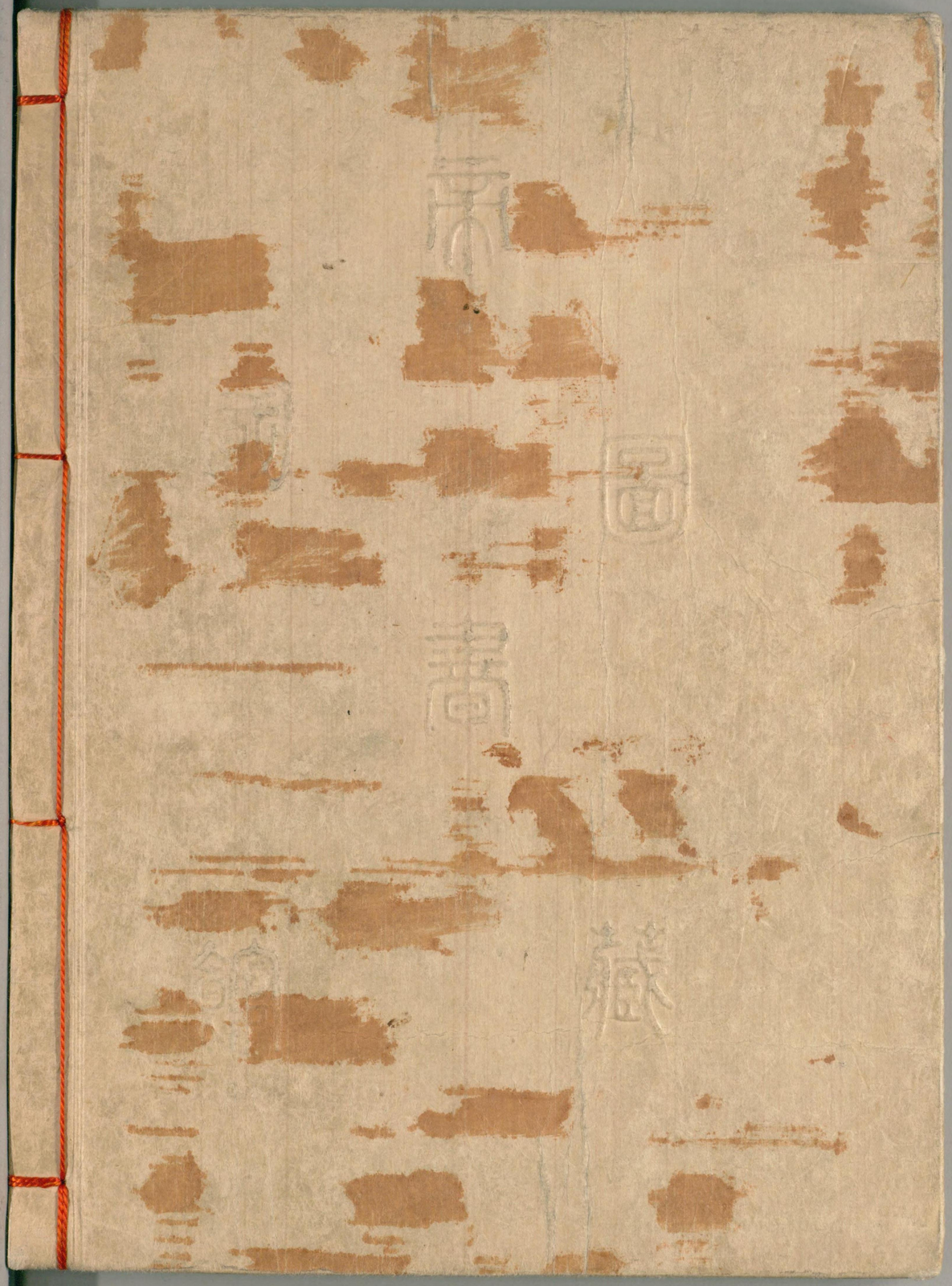
国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59

ガラス使用

3
18

国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』 請求記号 WA7-59

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『仙伝抄』　請求記号 WA7-59

ガラス使用